

【学校教育目標】「感謝の心をもち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」



学校だより 堂崎つ子

第 10 号

令和 8 年 7 月 17 日

南島原市立堂崎小学校

校 長 末吉 優

一学期終業式 校長の言葉（抜粋）

夏休み前の図書室掲示より ↓

一学期の始業式では、「ケヤキに新しい芽が芽吹いている」という話をした。ところが、三日後の入学式の日、朝、風雨がひどく、倒れてしまっていた。次の日、またしっかり植え直していただき、何とか成長している。見えない根を少しずつ地面に伸ばしている。皆さんと同じように少しずつ成長している。

今年は、「やればできる。挑戦：自分みがきの一年」として、3つ頑張ることを約束した。



一つ目は、「あいさつ」を大切にすることであった。相手を大切にする魔法の言葉「おはようございます」「ありがとう」「お願いします」を自分から元気に言えるようにする。言われなくても、自分から進んでできる人は、信頼される。運動会スローガンの言葉を借りるなら「輝く」ということである。皆さんは どうだったでしょうか？

二つ目は、「挑戦する心を忘れない」であった。目標をしっかりと掲げ、努力を重ねることで大きく成長する。（そう簡単には成功しないと思う。） 成功するためには、粘り強く、言い訳をせず努力を重ねないといけない。皆さんにとっては、勉強であったり、与えられた仕事や掃除などである。続けることの大切さを皆さんはどのくらい分かっているだろうか。

ワールドカップ：サッカー日本代表も残念ながら負けてしまったが、失敗を良き経験として、四年後を見据えて努力を重ねている。

三つ目は、「友達を大切にする」ということだった。学校はみんなで学び、みんなで成長するところである。周りの人にとって「いやだな」と思う言い方をしたり、からかったりする人はいないか。学習では、自分たちの考えを出し合い、高め合うことができたか？ 助け合える人、相手の気持ちが分かり手をさしのべる人はすばらしい。

「自分みがきの一年」、すでに一学期が過ぎた。この一学期頑張ったことがたくさんあったと思うが、学級の先生から渡される通知表などで確かめてほしい。

終わりに、みんなが素敵な夏休みをつくれるようお願いをする。暑い日が続く。熱中症や冷房にあたりすぎて病気をしないように気を付けてほしい。そして、交通事故や水の事故に遭わないように気を付けること。「命」を大切にするとともに、健康や安全に気を付けて楽しい夏休みを過ごしてほしい。8月9日、登校日・平和集会で元気な皆さんに会うのを楽しみにしている。

< 平和学習に関する掲示 : 平和教育担当 >



6年生「算数科」研究授業より 【7月15日(水)】

単元「割合の表し方を調べよう(比)」の学習で、コーヒー牛乳(全体)を作る際の、牛乳とコーヒーの量の比(3:5)について学習しました。1200mlのコーヒー牛乳を全体とみて、牛乳の量とコーヒーの量を求める問題でした。

線分図を用いて考え、(全体の量)×割合を用いて立式する方法、等しい比の学習を用いて解答を導く方法などについて、学びを深めました。

真剣に取り組む6年生の成長を感じるとともに、「既習事項を活用する大切さ」、「自分の考えを説明することの大切さ」を改めて感じました。

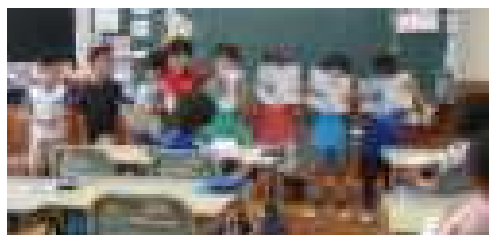


1年「親子絵画」「親子給食」 【7月10日(金)】 ／ 音読発表会 【7月15日(水)】



クレヨンと水彩絵の具を使って、予め決めておいたテーマの絵を親子で描いていました。保護者の皆さんのアドバイスはすばらしく、会話を楽しみながら取り組み、生き生きとした作品に仕上がっていました。

給食は、親子給食。子供たちは、笑顔でいただいていた。親子の様子を微笑ましく感じました。



7月15日、1年生の音読発表会に招かれました。「おむすびころりん」をグループごとに発表したのですが、もちろん、一人ずつ口を大きく開けて、ハッキリとした声で読むことができました。背筋をピンと伸ばして姿勢よくできました。読むことは、すべての学習の土台になります。どの学年においても、書かれている文章を暗記するぐらい、スラスラ読むことができるよう、日々の練習を重ねていただきたいと思います。

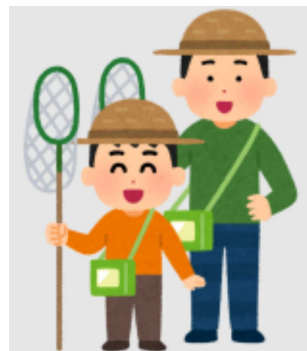
強い「根っこ」を育てる (厳しさと 十分な愛情 → 自ら考え、判断、行動する力へ)

夏の交通安全週間【11日(土)～17日(金)】の期間中、校外生活指導部及び各自治会の皆様には、子供たちの見守り活動、ありがとうございました。併せて、登校の際の挨拶についても指導をいただいたことと思います。

さて、夏休みを迎えるにあたって、毎年学校から「夏休みの生活のきまり」をお示ししております。しかしながら、職員の目は子供たちには届きません。各家庭で、お子様の健康と安全に気を付けて夏休みを過ごすようお願いいたします。「乳児は肌を離すな 幼児は肌を離して手を離すな 少年は手を離して目を離すな 青年は目を離して心を離すな」ということが言われます。

子供の成長に合わせて、親と子の 足離れ感が大事だと考えます。乳児・幼児の母親の懐から、少年となり、母の手から徐々に離れていき、親にとっても心配と同時に、「信じること」、「手放すこと」も必要になってきます。子供たちの「自立」に向けて、判断力と実践力を育てていただきたいと思います。

また、夏休みこそ家庭における「仕事」を持たせ、苦労を知る、やり遂げるなどの「忍耐力・辛抱強さ」を育てていただきたいと考えます。子供たち一人一人の成長は様々ですから、一概に当てはまることはないかとも思いますが、夏休みのお子様の生活が充実するよう御配慮をよろしくお願いいたします。



< 暑い夏を元気に過ごすためのポイント >

- ・睡眠: 夜更かしを避け、涼しい朝の時間に起きる。
- ・食事: 夏野菜を取り入れたバランスの良いメニューを心がける。
- ・運動: 涼しい朝の時間を利用して運動する。
- ・水分補給: こまめに水分を取り、熱中症を予防する。

これらの習慣を通じて、夏バテを防ぎ、規則正しい生活リズムを維持しましょう。楽しい活動と健康的な生活の両立を目指してください。

